

産業振興と人材育成の拠点整備事業について

南信州広域連合事務局

1 整備事業の進捗状況について（資料 1）

- (1) III期工事（B棟改修等工事）
- (2) 旧特別教室棟改修工事
- (3) IV期工事（外構等整備工事）

2 産業振興と人材育成の拠点の管理運営について

- (1) 施設の全体像について（資料 2）
- (2) 施設の愛称（呼称）について（資料 3）

3 施設の管理運営に要する費用の負担について

- 現在の産業センター施設の管理運営費と比較検討した上で、新施設の管理運営費に対する広域連合の負担のあり方検討する。
- 広域連合の公の施設を産業センターが指定管理者として管理する状況となるため、法人の経営シミュレーションも踏まえて、新たな支援の仕組みを新年度予算と併せて検討する。

4 オープン記念行事ほか今後の取り組みについて

- (1) 施設見学、内覧会等
 - ・産業センターの機能移転（引越し）は 12 月中旬の予定
 - ・広域連合議会議員：11/30(金)広域連合議会終了後に見学
 - ・施設の周知、利用促進のための内覧会 平成 31 年 1 月～2 月
- (2) 開所式 1 月 4 日(金) 午後 1 時 30 分
 - ・看板等設置（除幕）セレモニー
 - ・出席者（予定）正副広域連合長、(公財)南信州・飯田産業センター専務理事、南信州地域振興局長、広域連合議会議長、信州大学（現地駐在教授）、地元地区代表、広域連合副管理者
- (3) オープン記念式典及びイベント
 - ・3 月下旬（※実施日は駐車場等外構工事と調整し決定する）
 - ・午前：記念式典 午後：オープンイベント
- (4) 現産業センター施設の譲渡契約について
 - ・12 月中に広域連合への所有権移転の手続きを完了

産業振興と人材育成の拠点整備事業の進捗状況について

1 Ⅲ期工事（B棟改修等工事）

- 旧機械科棟・旧混合電気科棟の増改築、メインエントランス・テラスの増築

- 工期 平成 29 年 9 月～平成 30 年 12 月
- 事業費 521,250 千円
- 工事内容
 - 旧機械科棟改修
 - 旧混合電気科棟増築
 - メインエントランス、テラスの増築
- 財源 地方債、一般財源



メインエントランス（整備中）

2 旧特別教室棟改修工事

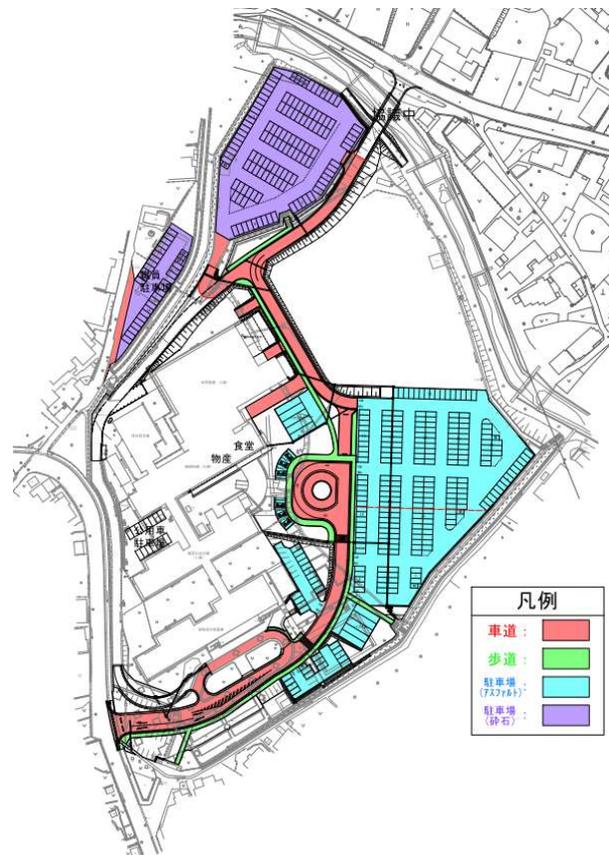
- 食品産業の高度化、高付加価値化に資する食品研究棟への改修

- 工期 平成 30 年 11 月～12 月
- 事業費 35,000 千円
- 財源 地方創生拠点整備交付金、地方債、一般財源

3 Ⅳ期工事（外構等整備工事）

- 外構・外灯・道路案内標識板設置工事、敷地内サイン、防犯対策、植栽、解体等

- 工期 平成 30 年 10 月～平成 31 年 3 月（予定）
- 事業費 214,750 千円
- 工事内容
 - 外構工事…構内道路、駐車場、排水溝等
 - 外灯設置
 - 拠点周辺への道路案内標識板の設置
 - 拠点敷地内、施設内の誘導サイン整備
 - 拠点敷地内、施設内の防犯対策
 - 植栽
 - 解体
- 財源 地方債、一般財源



産業振興と人材育成の拠点

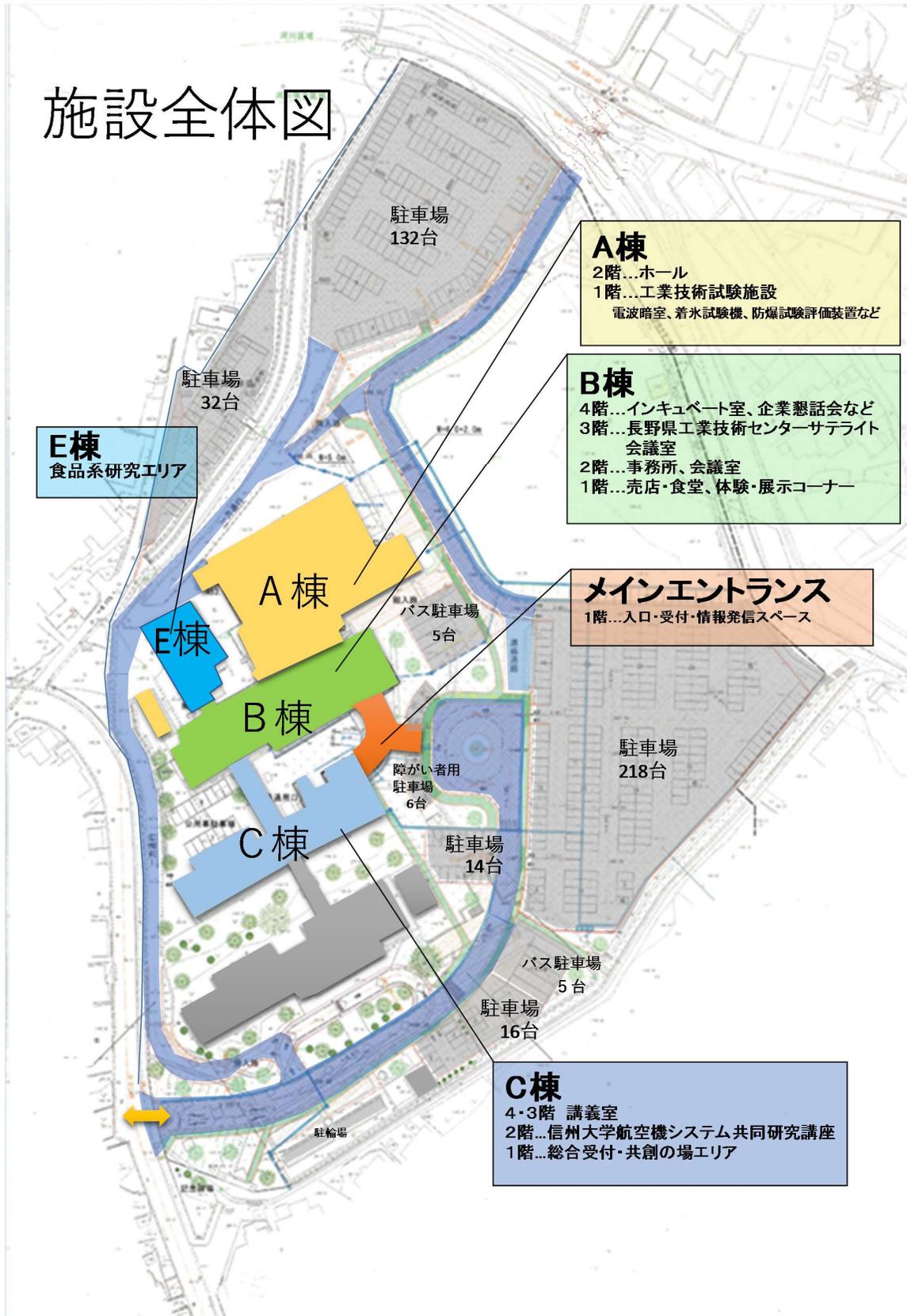
施設の全体像

C棟	B棟	A棟
4階 } 講義室 3階 } 2階…信州大学航空機システム共同研究講座 1階…総合受付・共創の場エリア	4階…インキュベート室、企業懇話室、等 3階…長野県工業技術センターサテライト会議室 2階…事務所、会議室 1階…売店、食堂、体験・展示コーナー	2階…ホール 1階…工業技術試験施設 EMC（電波暗室） 着氷試験装置 防爆性試験評価装置 等

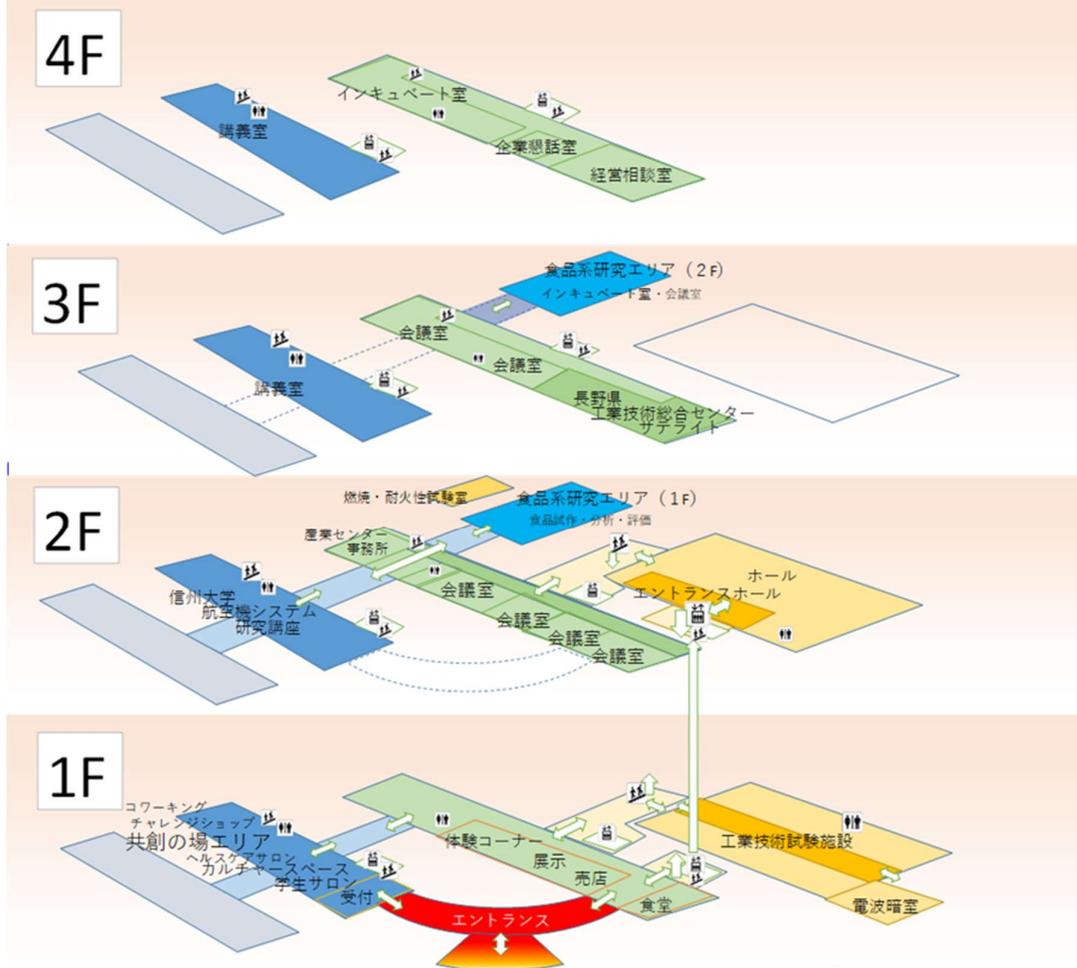


南信州広域連合・飯田市

施設全体図



メインエントランスから見たフロアマップ (館内見取り図)

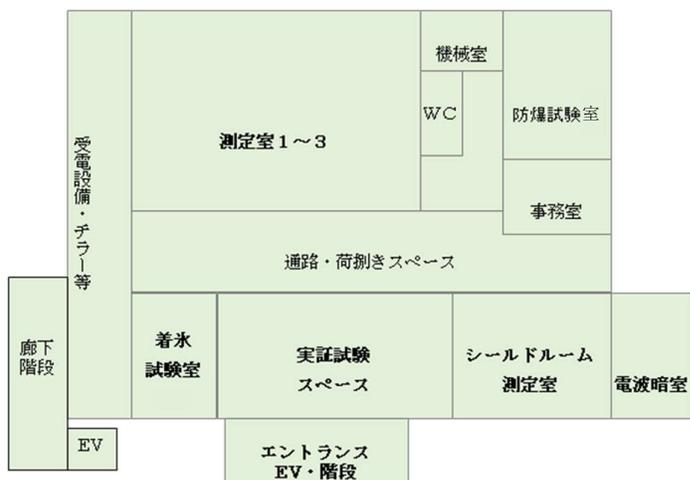


拠点施設への来場者入口として、メインエントランスを配備しました。ここからすべての施設へ移動ができます。

A棟 1F 工業技術試験施設



工業技術試験施設は、今まで分散していた施設を、1施設にまとめてワンフロアとし、すべてがここで対応できるよう機能性を高めました。試験成績書・校正証明書の発行や技術相談に応じられる事務所、従来の分析・解析機器や電波暗室（EMC試験）、航空機システム関連産業の着水試験装置、防爆性試験評価装置の試験室、今後導入する試験機器の配備スペースなどを確保しました。



校正試験・分析(測定室1~3)

各種測定機器の校正試験、有機成分分析、無機成分分析、表面観察、微量有機成分分析、微量無機成分分析が可能

電波暗室 (EMC)

電気機器などの機器内部から電磁波がどの位出ているか及び外部からの妨害電磁波に対して、その機能・動作が阻害されないかを評価する設備

航空機産業に不可欠な国内唯一の 環境試験機の整備

防爆性試験評価装置

試験品の動作や発熱により、周囲の爆発性ガスを誘爆しないこと（防爆性）を評価します。



メーカー: (株)羽生田鉄工所

チャンバー内部

着水試験装置

地上から上空までの気圧、気温、湿度を再現し、この環境下での航空機の装備品等の安全性・信頼性を評価します。



メーカー: エスペック株式会社

別棟・燃焼耐火性実験室

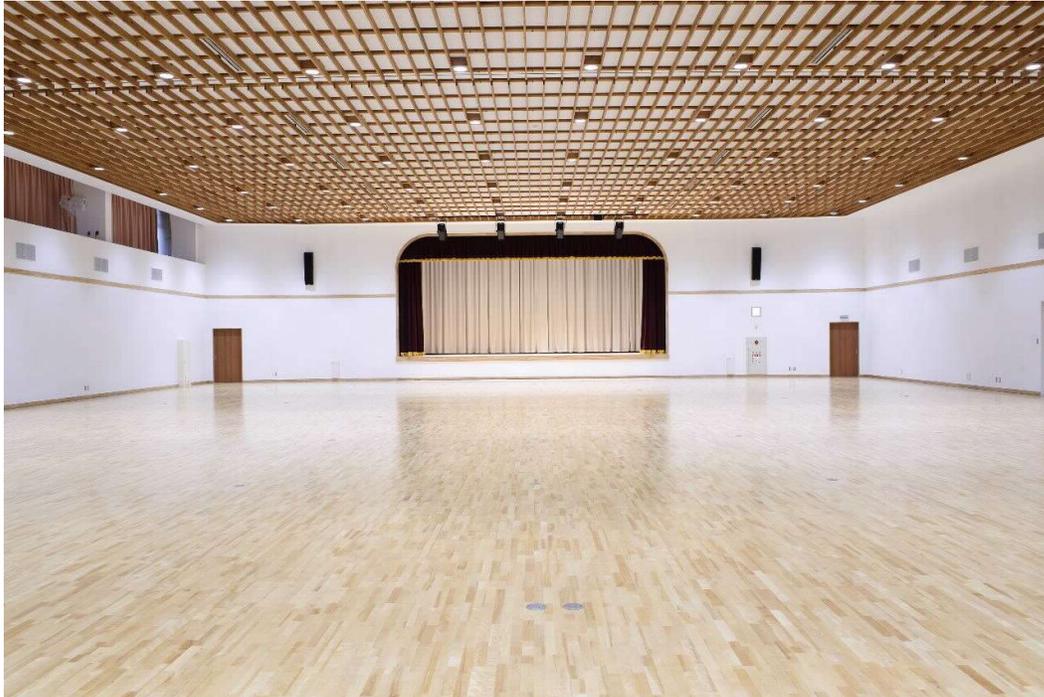
燃焼・耐火性試験装置

部品および材料の燃えやすさ、炎の伝わり方、発生するガスなどを総合的に評価します。

A棟 2Fホール

既存の「産業センターIIIDA」の大ホールの約1.5倍の面積で500人規模の講演会、研修会が利用可能な面積を確保し、スポット照明や調光が可能な天井照明やステージを配備しました。

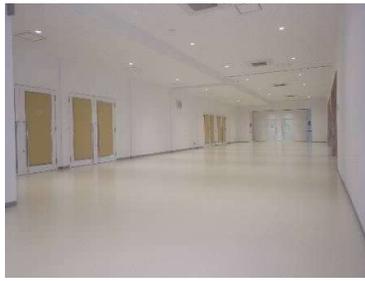
また、エントランスホール付近には授乳室、トイレを整備しました。



大ホール (828.01 m²)



ステージ (68.2 m²)



エントランスホール (179.92 m²)



トイレ入口



EVホール (20人乗り)

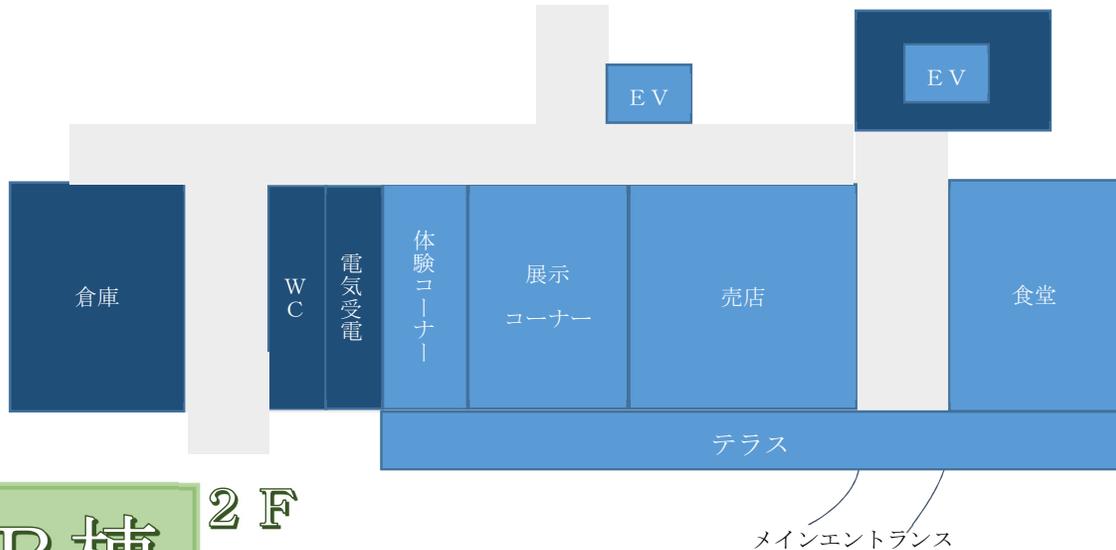
B棟

1F

売店・食堂・展示・体験コーナー

メインエントランスから右に向かうと、ガラス張りの天井から日差しが差し込むテラスに出ます。テラスからは食堂、売店、展示・体験コーナーにつながります。

- 売店は、様々な地場産品を紹介・販売ができる陳列棚や商品保管庫などが設置できるスペースを確保しました。
- 食堂は、厨房や対面カウンターを設け、テーブルやイスを配置するスペースも設けました。また、付近に売店、展示コーナーに通じるテラスを設置しました。
- 展示・体験コーナーは、デザインを重視した展示棚で地場産品を紹介するとともに、機器による体験ができるスペースを確保しました。



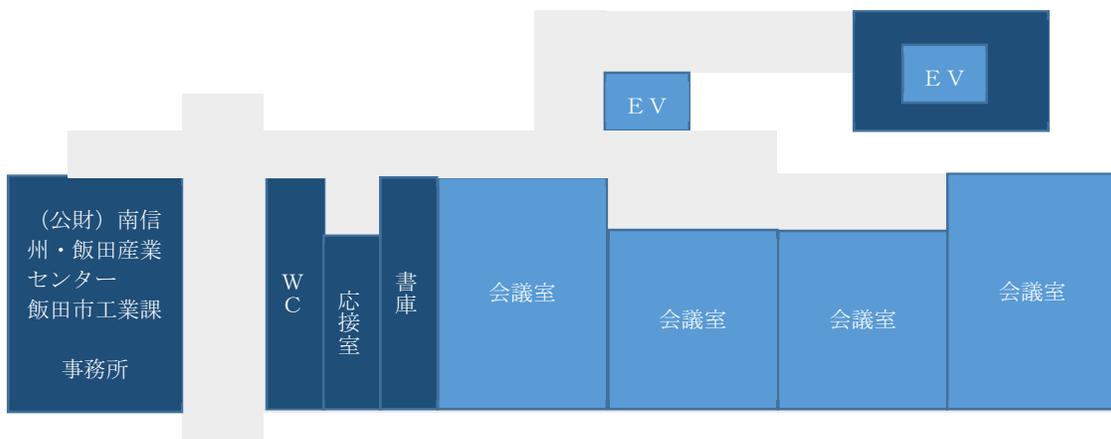
B棟

2F

事務室・会議室

○事務所は、(公財)南信州・飯田産業センターが拠点全体の施設管理、運営のためのスペースです。飯田市産業経済部工業課の事務所も設置します。

○会議室は、既存の施設より部屋数を増やし、さまざまなビジネスシーンで利用できるよう大小のサイズの部屋を整備しました。4部屋一体なった利用も可能です。



B棟

3 F

県工業技術総合センターサテライト 会議室

- 長野県工業技術総合センターの航空機産業支援サテライトが設置されるスペースです。
- 隣接した場所に、会議室を4部屋設置します。



B棟

4 F インキュベート室

企業懇話室・経営相談室

- インキュベート室は、既存の「産業センターIIDA」には無かった機能で、起業向けの貸部屋を目的に空調、電源など基本的機能が設置され、利用者の考え方で部屋の模様替え等が可能です。共同プロジェクト立ち上げなどでの活用も考えられる空間です。
- 企業談話室は、小人数の打ち合わせがしやすい小テーブルとイスが配置されています。近くには喫煙所と飲料系自動販売機が利用でき、リフレッシュができる空間です。
- 経営相談室は、室内を落ち着いた雰囲気を整備し、社員総会などの企業の重要な会議に対応できるテーブルやイスを設置しています。

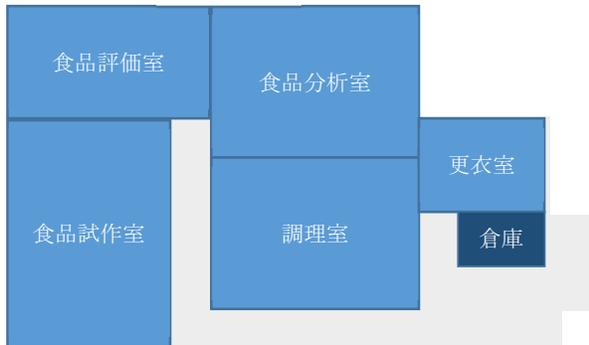


E棟

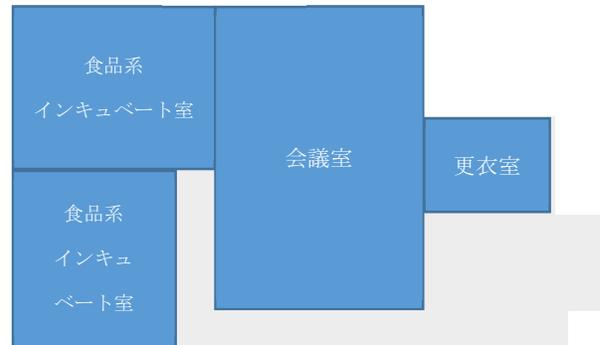
食品系研究エリア

食品製造業の振興のため新たに設置した施設で、1階は、機能性や製造にむけた研究・分析評価ができる機器や設備を、2階は食品系のインキュベーション室や会議室を設置しました。信州大学農学部や地域内企業と連携し食品系の研究開発の拠点を目指します。

1階



2階

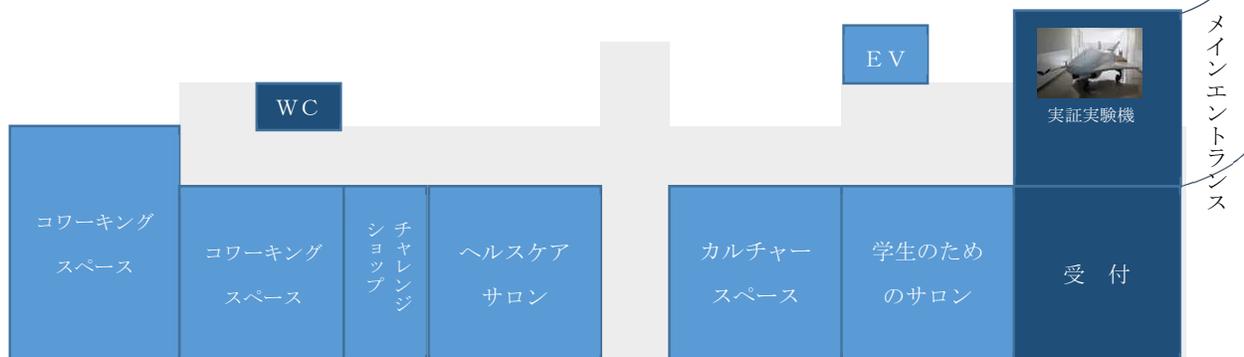


C棟

1F 共創の場エリア

様々な「知」や「人材」を結び、共に創造し、その輪を広げることで、新たな「知」や「価値」を創造、発信する交流・共創空間で、木材を使った旧工業高校の教室の雰囲気を活用した空間です。

- メインエントランスを左に入ると、ガラス張りのスペースに研究機関で使用された実証実験機が見学でき、その隣には来場された方をご案内する受付を設置しました。
- コワーキングスペースは、個別の机スペースや、話し合い・打ち合わせなど利用者が交流できる机などを配置できるスペースを確保しました。
- 学生のための休憩・談話スペースは、学生等の交流のための空間として、Wi-Fi や PC 用電源の利用が可能な空間を確保しました。
- カルチャースペースは、地域住民によるイベント活用、地場産業の学習会、小規模セミナーなど多種多様な分野の連携に使えるよう、机やイスなどが配置できる空間を確保しました。
- チャレンジショップはテストマーケティングの場として、ヘルスケアサロンは、健康産業に係る活用が考えられます。



C棟

2F 信州大学航空機システム 共同研究講座

信州大学の「信州大学航空機システム共同研究講座」を運営するために必要な講義室、航空機装備品に関する研究技術開発のための実験室、教授が利活用する教員室、講座運営支援のための事務職員が利用する事務室を配備しました。



C棟

3.4F 講義室

将来は、信州大学南信州キャンパス（構想）など
高等教育機関の誘致を目指すエリアです。

旧工業高校時代の木の壁や教室のサイズを活かし、各種講座が開催できるよう照明や空調など必要な整備を施して、使いかっの良い自由な空間を確保しました。

3F



4F



産業振興と人材育成の拠点の愛称について

1 愛称の考え方

- ・長野県の航空機産業振興推進の意思及び南信州地域の産業振興と人材育成の拠点として意思を、コンセプト、理念、概念で構成し、表現した愛称とする。
- ・商標などの権利関係を確認したものとする。

2 県との検討の経過

- 7/11 長野県 産業労働部 産業政策課との協議 双方案を持ち寄り検討
- 9/20 長野県 産業労働部 産業政策課との協議 双方案を持ち寄り検討 絞り込み
- 9/26 太田副知事への説明、意見聴取
- 10/1 知事への説明、意見聴取
- 10/10 南信州・飯田産業センター理事会での意見聴取
- 11/13 長野県航空機産業推進会議幹事会での意見聴取
- 11/16 広域連合会議

3 愛称候補

(※順不同)

	愛称	イメージ、コンセプト、愛称の説明等
案1	エス・バード (S-BIRD)	<ul style="list-style-type: none"> ・南信 (South Shinshu)、信州 (Shinshu) の S、鳥 (Bird) が飛行する様から航空機をイメージ ・躍進 (Breakthrough) イノベーション (Innovation) 研究開発 (Research and Development) ・長野・南信の地から研究開発によりイノベーションを創出し躍進するイメージ
案2	ツバサ (TSUBASA)	<ul style="list-style-type: none"> ・南信州地域 (The South shinshu Union)、 ・科学・航空学術拠点 (Base of Academy for Science and Aviation)

4 意見等

- ・(公財)南信州・飯田産業センター理事会において、案2は同一名称の地元企業が存在するとの意見があった。

5 広域連合会議の協議結果

- ・エス・バード (S-BIRD) に決定